

手術計画用ソフトウェア一式仕様書案

構成内容

1. 手術計画用ソフトウェアシステム	1 式
1-1 サーバーハードウェア	1 台
1-2 手術計画用ソフトウェア（該当前科含む [※] ）	1 式

[※]脳神経外科、整形外科（脊椎脊髄）、耳鼻咽喉科、形成外科、口腔外科が該当。

術前プランニングシステムは統合的な一式システムとして以下要件の仕様又は同等の機能を満たすこと。

- 術前プランニング装置は複数科・複数人使用を想定し、同一のプランニングデータの共有が多地点で行えること。
- 術前プランニング装置は手術ナビゲーションシステム本体と画像連携がシームレスに可能であること。
- 術前計画ソフトウェアは大脳部解剖のセグメンテーション機能、神経線維の走行、fMRI 解析データが組み合わせて確認できるプランニング機能を有すること。

1. 手術計画用ソフトウェアシステム

1-1 サーバーハードウェアは以下要件の仕様又は同等の機能を満たすこと。

1-1-1 サーバー型術前計画装置本体は、本院サーバー室のサーバーラックにマウントできる形状であること。CPU は Intel 社 Xeon または同等以上であること。

1-1-2 メインメモリーは 96GB 以上であること。

1-1-3 記録装置は、RAID 構成され、960GB 以上のストレージ容量を有すること。

1-1-4 OS は、マイクロソフト社 Windows サーバー2019 64bit または同等以上であること。

1-1-5 患者データの一元管理と本院ネットワークを使用した PC 端末による多地点運用が可能であること。

1-1-6 装置は、当院 VINCENT とネットワーク経由で接続し、DICOM Q/R 方式により画像情報が取得できること。

1-1-7 システムの移行期間は旧システムと新システムが並行使用可能であること。

1-2 手術計画用ソフトウェアは以下要件の仕様又は同等の機能を満たすこと。

1-2-1 プランニングソフトウェアは最新システムとし、ソフトウェア単体として薬事取得が得られており、本院の将来の IT 環境の変化に対応できる様、ワークステーション、サーバー等に搭載が可能であること。

1-2-2 術前計画ソフトウェアは CT、MRI、DTI、PET、SPECT 画像データの読み込みが可能であり、以下の機能又は同等の機能を有すること。

- ① 画像データ及び 3D オブジェクト等のビューワー機能
- ② 自動イメージフュージョン機能
- ③ 自動イメージフュージョン機能（アンギオ）

- ④ 自動アトラスセグメンテーション機能（頭蓋内構造物）
- ⑤ 自動アトラスセグメンテーション機能（大脳基底核部）
- ⑥ 自動アトラスセグメンテーション機能（頭蓋形成用）
- ⑦ ブラシ機能
- ⑧ ブラシ機能（アンギオ）
- ⑨ オブジェクトマニピュレーション機能
- ⑩ トライエクトリー作成機能
- ⑪ DTI 画像情報を用いたファイバートラッキング機能
- ⑫ fMRI 画像情報を用いた BOLD 機能
- ⑬ 定位フレーム運動機能
- ⑭ 脊椎用スクリュープランニング

【補足】導入に関わり以下の要件を満たすこと。

- 設置場所は、病院指定の納入場所に設置すること。
- 納入検査確認後 1 年間は、通常の使用により故障した場合、無償修理に応じること。
- 本物品の管理使用者に、取扱説明、教育訓練及び支援を行うこと。